



釧路あすなろ会報

平成16年度 スローガン

「新たな挑戦」

平成16年6月 例会報告

執行部担当

題 目 登山例会（体力のある人もない人も山へ登ろう）

開 催 日 時 平成16年 6月 13日（日） 午前8時00分

開 催 場 所 西 別 岳

出席者人数	第1部会	4名	第2部会	3名	
	第3部会	2名	第4部会	5名	出席者合計 14名

[例 会 後 述]

参加された皆さん、ご苦勞様でした。今回は参加された方々の感想文の1部を紹介いたします。

第一部会 谷口 正四 会員

最初は、戸惑いが先に立った、登山例会、何かと言う前に、とにかく参加してみようと思い、出発した当日、天気も良く、バス中はハイキング気分で現地に到着、注意事項を聞き準備体操をし、不安そこそこに サー出発、がまん坂が有りそこがこの山の一番のつらいところと聞きながら、歩いていくと もうグリッキーモードの入る、ブツブツ独り言を言いながら、フッと見るとここから（がまん坂）のキャンバン エッ嘘だろう 今までの坂は、ナンダーと心の叫びを上げ引き返そうと廻りに言ってみるが皆やる気マンマン？の顔をしている、そういえば、佐藤会員（女性）の小学生の子供も参加している、子供の前では変な態度は見せられない、大人の責任だと、分けの判らない、責任論をふりかざしながら登り始める。何度となく休みながら「帰りたい、帰れない、ここが、がまん坂」と唄いながら 一步、一步足を前に進め、頂上に到着。廻を見てみると、素晴らしいパノラマ、そして、ここまで来たと言う充実感、アー登ってみて良かった、本当に良かったと心から思える、この達成感が一週間も過ぎた今でも昨日のように思い出します。今回の例会は色々な意見があると思いますが来年もこのようなアウトドワ的な行事を続けてもらいたいと思っています一人です。

第二部会 大串 希昭 会員

西別岳登山を終えて

6月の例会案内で登山の事お知り、出欠×切間際まで、参加出来るか否か迷っていました。何故なら、自分の今の体力・気力を考えると、団体での登山には自信が持てなかったからです。特に、昨年2月に脳梗塞をわずらってからは、元の俊敏さは影を消しており、足もさほど上にあがらない状態だからです。

しかしこうした機会を逃したら、自分の体力を知るチャンスが「なくなる」との思いもあって、登山例会に参加させて頂きました。

標高799mの西別岳は登山愛好家にとっては、初心者でも楽しめる山と聞いておりました。

ところが、いざ登山に入りますと、登山口から10分～15分位で通称、云われるところの「がまん坂」にあたり、傾斜度が急になり、このまま本当に登れるだろうかと云う思いと折角の登山例会を、自分の為に迷惑をかける事にならないだろうか。何故、参加してしまったのだろうか。

時々、自問自答しながら、平野幹事長の励ましと登山ガイド役の常田さんのお声掛けで、文字通り「ギブアップ」の声を飲み込み登りました。

途中、第一お花畑・第二お花畑・極楽坂など、登山者にだけ許される景色が開かれておりました。

しかし私にとっては、この後の頂上迄の工程の方が気掛かりで、景観や爽やかなうぐいすの鳴き、も、ある意味、そぞろでした。

しかし、我慢に我慢を続けてやっとの思い出、主席者中、最後の最後で頂上に辿り着くと、他の会員の皆様から祝福の拍手で迎えられ、登って良かった。頑張ったと感激しました。

そして頂上での眺めは摩周岳、斜里岳、その他の山々が望まれ、摩周湖の別角度からの眺め、また下界に広がる原野など、登山をしなければ望むことの出来ない、まさに絶景でした。

やや誇張になりますが、生きているうちに、この景色、自然の雄大さを実感しない手はないと、感じた次第です。

こうしたチャンスを是非、他の会員にも味わってもらえればと感じました。

最後の、この例会を企画、主催した役員の皆さまに感謝申し上げます。

第三部会 本間 英俊 会員

6月例会 登山を終えて

今年のスローガン「新たなる挑戦」

今年の事業計画で初めから物議をかました、登山でした。

参加人数が少なかったのは残念でしたが、登り終えて皆口をそろえて最高だと言って、満足感にしたう顔を見た瞬間ホットしました。

登山口から登り始め10分位から一番の難所「がまん坂」200mほど直線登っている時「がなん坂」でなく《地獄坂》といっても過言でないと感じました。

200m、50mずつ4回休んで行くように考えてましたが、そう、甘え考えでは行きません、休み休み、登りました。後は対したことなく、頂上に付いた時には、広大なパノラマを満喫しました。

又、天気、気温、風景、もう最高の気分でした。

これ以上の達成感はありません。

下山中(がまん坂)を上から見た時、1時間前この崖のような所をよく登った、思い、つらい思いが何だったと感じました。

参加者、全員無事に下山して例会は成功したと思いました。

このような、例会は、年に1回やってほしいです。

協力を惜しまない一人です。

登山

私が始めて登山をしたのは、今から24年前の事で、その時登った山は雌阿寒岳でした、30代の前半でもあり、足取り軽く登頂し、帰りは走って下山した事を、記憶しています。

今回2度目の挑戦となった山は、西別岳です、前回と比較すると、年齢はおまけの人生で腹は出っ張って中性脂肪の塊、誠に醜いアヒルです、やさしい山のランクで初級クラスだと言われ参加申込み、当日、登山口に立ち天気も良いし、意気揚々サアー挑戦出発と林道を抜け、うぐいすの鳴き声を聞きながら歩いていた所までは良かったが、目に飛び込んで来た急な上り坂、これが噂のがまん坂、太腿部分はツツパリ、膝はガクガク標茶山岳会ガイドサポートの林さんに後どの位と聞いたら、がまん坂(直線200m)の半分も登っていないと言われ、仲間に迷惑をかける前に下山し、山小屋で帰りを待とうと後ろを振り返ると、子供達も頑張っているではないか、自分も負けなぞと考え直してひたすら、' ' がんばん、ばまん' ' やがてガイドの林さんより、がまん坂は終了したよと聞きよく我慢したと、自分に言い聞かせ、後は、ガイドさんによる山々の名前や草花の説明を聞く余裕も出来、無事西別岳登頂、最高の気候の中、眺望も良く眼前の摩周岳・摩周湖を見ながら、早速ビールで乾杯、疲れも吹っ飛びました、信条朗読は無かったが、全員にて記念撮影になった時には、釧路あすなろクラブ会員全員が、ここに立ち、眺望と達成感の中で乾杯したかったと思ったのは、酒飲みの私だけかな？本当に良かったよ。

この6月例会(登山)を振り返ると、最初はしんどいかったけれど、山頂に立った時の達成感は、言葉では言い表せません、室内の研修も良いが、このような例会があってもいいのかなと思いました、山より丘、作散策でも良いと思うよ家族も(個人的な考えです)。

結びに、ガイドの林さんが、今日の様な天気にも恵まれるのは少ないと言っていました参加された会員皆様方々の普段の精通が良かったのでしょうか、最高の天候に恵まれそして何よりも、怪我や一人の落伍者もなく、スケジュール(一部変更)通り終了する事が出来ました、参加された会員皆様の協力があったればこそ有り、この事によりクラブ会員相互の連帯感が益々強くなり、クラブの発展に繋がればと思います。

本当に皆様、ご苦勞様でした。

【事務局連絡】

- ・ 7月例会に絵手紙を必ず持って来てください。
喫茶店 リリーで展示会を予定しています。
- ・ 次期会長決定準備の為、各部会は候補者を8月20日までに決めて下さい。
その後、速やかに選考委員会を開きます。
- ・ 厳島神社例大祭が7月10日に行われます。
参加、協力者は7月1日 6時30分より厳島神社社務所まで集合してください。(金)
《注意》 これが最後の打合せです。
- ・ 会旗が痛みがひどい為、新しくしたいと思います。
1本17000円×2本。 7月例会で話し合いをしたいと思います。
- ・ 会費が未納の方がいます、すみやかに収めてください。
- ・ これから部会例会が多くなってきます、皆さん頑張っていきましょう。